生徒・保護者のみなさまへ

平成２７年度

学習評価と授業内容について

２年

大阪市立 西中学校

（　　）年　（　　）組　（　　）番　　名 前（　　）

大阪市立 西中学校

平成２７年度

学習評価と授業内容について

目　　次

１．評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2

２．年間テスト実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3

３．各教科の評価基準と年間計画

国　　語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4

社　　会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6

数　　学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8

理　　科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.10

音　　楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.12

美　　術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.14

保健体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.16

技術・家庭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・P.18

外国語（英語）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.20

4. 参考資料（大阪市教育センターより）
「ひとり学び」のポイントについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.22

5. 西中学校ホームページについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.27

１．評価方法

今まで大阪市では、定められた評定人数に従って学年内の序列を示す「集団に準拠した評価（相対評価）」という方法を用いてまいりました。しかし、平成 28 年度高等学校入学者選抜より「目標に準拠した評価（絶対評価）」を選抜の資料として用いることになるなど、評価の方法が大きく変わるため、本校においても、平成 26 年度より「目標に準拠した評価（絶対評価）」を導入しております。

「目標に準拠した評価（絶対評価）」とは、学習目標を設定し、その達成度によって評価する方法です。各教科の評価の観点及び目標は、文部科学省の学習指導要領に基づいたものです。定期テストの点数が評定の資料となることは変わりませんが、今までよりも、生徒それぞれの日常の学習の様子が、評価に大きく反映されることとなります。ご家庭でも学習の支援をお願いします。

各教科の指導内容や評価の詳細につきましては、後記をご参照ください。なお、学校ごとの評価基準のずれを修正するために、大阪府下の全中学校で統一の学力診断テスト(チャレンジテスト)を実施し、選抜の資料として用いることとなりました。他にも、中学３年生につきましては、入学者選抜の資料として活用するために、大阪市統一テストや全国学力学習調査の結果を加味するなどの計画がなされております。但し、未だ詳細は発表されておりませんので、あらかじめご了承ください。

その他、今後も大阪府・大阪市の学校教育に関わる事項は、様々な変更が予想されますが、本校のホームページなどでその都度ご案内いたします。

２．年間テスト実施計画

○ 定期テスト

	実　施　日	１限	２限	３限	４限		実　施　日	１限	２限	３限	４限
一学期中間	5月28日(木)	社	理	避難訓練		一学期期末	6月24日(水)	理	国	技家	
	5月29日(金)	国	数	英	避難訓練予備日		6月25日(木)	社	数		
							6月26日(金)	英	1:美 2:音 3:音		
二学期中間	10月15日(木)	社	理	1:音 2:保体 3:美	3:技家	二学期期末	11月24日(火)	社	1:保体 2:美 3:保体	1:技家 2:技家 3:音	
	10月16日(金)	国	英	数			11月25日(水)	理	国		
							11月26日(木)	英	数		
3年学年末	1月27日(水)	国	社	理		1・2年学年末	2月24日(水)	社	英	音	
	1月28日(木)	数	技家				2月25日(木)	理	国	技家	
	1月29日(金)	英	保体				2月26日(金)	数	保体		

※ 国社数理英・５０分　　実技科目(技家・音・美・体)・３０分

※ １年１学期の中間テスト　英語は４０分

○ 3年実力テスト（年6回）／ 1･2年課題テスト（8月26・27日）

実　施　日	１限	２限	３限	４限	５限	実　施　日	１限	２限	３限	４限	５限
1回 6月3日(水)	英	数	社	理	国	5回 1月12日(火) 1月13日(水)	国	数	英		
2回 8月26日(水)	数	社	理				理	社			
8月27日(木)	国	英									
3回 10月20日(火)	社	理	国	英	数	6回 2月25日(木) 2月26日(金)	国	数	英		
4回 12月1日(火)	理	国	英	数	社		理	社			

○ その他

・全国学力・学習状況調査(３年)４月21日（火）　国Ａ・国Ｂ・数Ａ・数Ｂ・理・質問

・１・２年夏休み課題テスト８月26日（水）数・社・理　　８月27日(木)国・英

・府下統一チャレンジテスト　１・２年　１月13日（水）（予定）

・大阪市統一テスト　３年生進学テスト(未定：10月頃)

・大阪市　英語能力判定テスト

※ 定期テストや実力テストを欠席した場合、その他の評価材料を対象として評価をします。

※ テストの実施予定日など各種予定は変更になる場合があります。月中行事予定表でご確認ください。

３．各教科の評価基準と年間計画

○ 評価基準【国語】

中学【２】年 【国語】科

1. 授業担当者名【吉本・櫻井】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

・自分で学習の記録や提出状況などを確認できるようにしています。
・自学自習ができるように学習のポイントや方法を伝えます。
・様々なコンクールへ作品を出品するなど、創作活動に取り組みます。
・週1回書写の授業に取り組みます。毛筆の学習では分割授業を実施予定です。
・チャレンジテストや全国学力調査の練習問題に取り組みます。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高め、国語に対する認識を深め、自己を向上させようとしている。	提出物の確認 授業態度と発表の様子など
②	話す・聞く能力	目的や場面に応じ、課題の解決に向けて話し合っている。表現の工夫を評価して聞いている。	音読評価 聞き取りテスト
③	書く能力	目的や場面に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。	書写の作品 ノート提出 作文などの記述内容 詩や俳句の創作
④	読む能力	文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、人間・社会・自然などについて自分の意見を持つ。	定期テスト 小説や論説の読解 朗読・発表の様子 読後感想(文) テスト・ワークなどの記述
⑤	言語についての 知識・理解・技能	言葉の特徴を理解して使う。漢字を理解し、書写の知識を効果的に使って文字を書く。	定期テスト 課題の内容 授業での発表

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書(光村図書)　○ノート(縦書き)　○ワーク(新学社)

ロッカーに置いておいても良いもの：○書写の教科書(光村図書)　○漢字ノート(新学社)
○便覧(浜島書店)　○つまずかない文法の学習(新学社)

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【国語】

中学【２】年 【国語】科

1. 授業担当者名【吉本】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	オリエンテーション	
		3	明日	
		4	アイスプラネット	
	5	1	枕草子	
		2	類義語・対義語・多義語	
		3	やさしい日本語	
		4	熟語	
	6	1	新しい短歌のために	
		2	短歌十二首	
		3	文法	
		4	メディアと上手に付き合うために	
	7	1	気になる「あの人」を探ろう	
		2	旅する絵描き	
		3	五重塔はなぜ倒れないか	
2	8	4	書写	
	9	1		
		2		
		3		
		4	盆土産	
	10	1	字のない葉書	
		2	敬語	
		3	気持ちをこめて書こう	
		4	君は「最後の晩餐」を知っているか	
	11	1	平家物語	
		2	扇の的	
		3	仁和寺にある法師	
		4	漢詩の風景	
	12	1	文法	
		2	モアイは語る	
		3	立場と根拠を明確にして書こう	
3	1	2	走れメロス	
		3		
		4		
	2	1	表現の仕方を工夫して書こう	
		2	方言と共通語	
		3	送り仮名	
		4	身近な人の物語を探る	
	3	1	言葉の力	
		2	まとめ	
		3	まとめ	

3. 備考

※ 授業の進度は行事などによって予定より遅れる場合があります。
※ 1学期の後半より書写の時間を週に1度取る予定です。文化発表会に向けて練習を重ね、作品を展示する予定です。
※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【社会】

中学【２】年 【社会】科

1. 授業担当者名【 河野 】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

昨年同様、歴史・地理の学習を交互に並行して行います。ノートをしっかりとり、毎回の5問テストをきちんとやりましょう。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追及し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果 ・小テストの結果
②	社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果
③	資料活用の技能	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果
④	社会的事象についての 知識・理解	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に着けている。	・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・ペーパーテストの結果 ・小テストの結果

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書　○ノート（地理用と歴史用の2冊を準備して下さい。）、地図帳、ワーク

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【社会】

中学【２】年 【社会】科

1. 授業担当者名【河野】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	鎌倉幕府の成立	
		3		
		4		
	5	1	元の襲来と鎌倉幕府の衰え	
		2	室町幕府と下剋上	
		3		
		4	中世の文化	
	6	1	日本の姿	
		2		
		3	世界と比べた日本の地域的特色	
		4		
	7	1		
		2		
		3		
2	8	4	中世から近世へ	
	9	1		
		2		
		3	江戸幕府の成立と東アジア	
		4		
	10	1	百姓、町人と産業の発達	
		2		
		3	幕府政治の改革と農村の変化	
		4		
	11	1	江戸時代の学問と文化	
		2	九州地方	
		3		
		4	中国、四国地方	
	12	1		
		2	近畿地方	
		3		
3	1	2	中部地方	
		3		
		4	関東地方	
	2	1		
		2	東北地方	
		3		
		4	北海道地方	
	3	1		
		2	身近な地域の調査	
		3		

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【数学】

中学【２】年 【数学】科

1. 授業担当者名【山　形】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

・人の話はしっかりと聞くこと。
・ノートには、板書だけでなく、注意事項のメモや自分で学習したこともかく。
・チャイムが鳴るまでに授業の準備をし、席に着いておくこと。
・難しい問題にも挑戦すること。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	数学への関心・意欲・態度	関心を持ち、楽しさやよさを実感し、数学を活用したりしようとする。	授業における観察 忘れ物 宿題・ノートなどの提出物
②	数学的な見方や考え方	論理的に考察し表現したり、考えを深めたりする。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(確認問題)
③	数学的な技能	数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(基本問題)
④	数量や図形などについての知識・理解	基礎的な概念や原理・法則などについて、理解し、知識を身に付けている。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(応用問題)

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書　○ノート　○問題集

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【数学】

中学【２】年 【数学】科

1. 授業担当者名【山形】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	1章 式の計算	
		3		
		4		
	5	1		
		2		
		3		
		4	2章 連立方程式	
	6	1		
		2		
		3		
		4		
	7	1	3章 一次関数	
		2		
		3		
2	8	4		
	9	1		
		2		
		3		
		4		
	10	1		
		2		
		3	4章 図形の調べ方	
		4		
	11	1		
		2		
		3		
		4		
	12	1	5章 図形の性質と証明	
		2		
		3		
3	1	2		
		3		
		4		
	2	1		
		2	6章 確率	
		3		
		4		
	3	1		
		2		
		3	まとめ	

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【理科】

中学【２】年 【理科】

1. 授業担当者名【大西】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

・授業は、教室や第1理科室・第2理科室で行います。授業は、先生の発問に対して君たちが返答したり、先生の説明に、君たちが質問する相互交流を中心にしたいと考えています。ノートをとるときは、先生の説明が終わってからにする。さらに大切な点をメモしたり、アンダーライン等できればさらによいでしょう。チャイムが鳴って先生が教室に入ってくるまでに授業の用意をしておくこと。また授業中や定期テストごとに提出物も集めます。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	自然事象への関心・意欲・態度	実験や観察などの授業に集中して取りくむなど、意欲的に取り組んでいる。自分の考えを意欲的にまとめたり、発表しようとしたりしている。	・授業における行動観察 ・発表や発言の様子 ・ﾉｰﾄやﾜｰｸｼｰﾄの記述 ・宿題の提出 ・観察・実験ﾚﾎﾟｰﾄの作成
②	科学的な思考・表現	実験観察の結果に基づいて、論理的に考察できている。文章その他の方法で表現できている。	・授業における行動観察 ・定期テストの結果
③	観察・実験の技能	実験装置を組み立てたり、片付けたりする。実験結果を図や表を用いて、記録している。グラフ作成にあたって、横軸・縦軸を適切に設定して、目盛りを記入し、実験データを基に正しく点を打ち、点と点の間を適切な線で結んでいる。	・授業における行動観察 ・観察・実験ﾚﾎﾟｰﾄの記述 ・定期テストの結果 ・実技テストの結果
④	自然事象についての知識	基本的事項、原理・原則を理解し、知識を身につけている。	・授業における行動観察 ・定期テストの結果 ・小テストの結果

4. 準備物・持ち物・教材など

○サイエンス・マイノート、授業用ノート、定規、のり、筆記用具、２つ穴ファイル

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【理科】

中学【２】年 【理科】

1. 授業担当者名【大西・藤田 】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	化石と地層	
		3	【生命】 動物のくらしやなかまと生物の変遷	
		4		
	5	1		
		2		
		3		
		4		
	6	1		
		2		
		3		
		4		
	7	1	【物質】 化学変化と原子分子	
		2		
		3		
2	8	4		
	9	1		
		2		
		3		
		4		
	10	1		
		2		
		3	【エネルギー】 電流の性質とその利用	
		4		
	11	1		
		2		
		3		
		4		
	12	1		
		2		
		3		
3	1	2	【地球】 地球の大気と天気の変化	
		3		
		4		
	2	1		
		2		
		3		
		4		
	3	1		
		2		
		3		

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【音楽】

中学【２】年 【音楽】科

1. 授業担当者名【トール】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

○日々の授業を大切にしましょう。
　表現の領域では合唱や、リコーダー合奏などに取り組みます。一人では味わえないハーモニーを味わえるよう、積極的に練習に取り組みましょう。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	音楽への関心・意欲・態度	音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組む	・授業における行動観察・発表、発言の内容・練習の参加状況・ﾜｰｸｼｰﾄの記述、提出状況
②	音楽表現への創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、思いや意図を持って音楽表現を工夫する。	・授業における行動観察・発言、表現・楽譜やﾜｰｸｼｰﾄなどの記録・ﾜｰｸｼｰﾄの記述、提出状況
③	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表す。	・実技テスト・作品
④	鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わう	・授業における行動観察・ﾉｰﾄやﾜｰｸｼｰﾄの記述・ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄの結果

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書(中学生の音楽上、中学生の器楽の2冊)　○Ａ４版ファイル
○アルトリコーダー　○体育館シューズ

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【音楽】

中学【２】年 【音楽】科

1. 授業担当者名【トール 】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	クラスの歌声作り	
		3	クラスの歌声作り	
		4	クラスの歌声作り	
	5	1	曲に合わせた奏法	
		2	曲に合わせたレガート奏法	
		3	曲の構成や曲想の変化を感じ取ろう	
		4	曲の構成や曲想の変化を感じ取ろう	
	6	1	曲に合わせた奏法	
		2	曲に合わせたレガート奏法	
		3	言葉を活かしたメロディー	
		4	言葉を活かしたメロディー	
	7	1	曲のまとまりを感じて歌う	
		2	曲のまとまりを感じて歌う	
		3	フーガの構成を感じて聴く	
2	8	4	いろいろな鍵盤楽器を比較しよう	
	9	1	イタリア語の歌・カンツォーネ	
		2	イタリア語の歌・カンツォーネ	
		3	曲のもつ情緒を味わいながら演奏する	
		4	曲のしくみについて知る ソナタ形式	
	10	1	生い立ちと、様々な曲について	
		2	さまざまな楽器に触れる	
		3	ハーモニーを作る	
		4	ハーモニーを作る	
	11	1	三部合唱をまとめ、完成させる	
		2	日本の伝統芸能に触れる	
		3	日本の伝統芸能に触れる	
		4	日本の伝統芸能に触れる	
	12	1	気持ちをメロディーに乗せる	
		2	気持ちをメロディーに乗せる	
		3	ギターの構え方と各部の名前	
3	1	2	ギターポジション	
		3	「喜びの歌」	
		4	「喜びの歌」	
	2	1	オペラに触れる	
		2	総合芸術の理解、声の魅力を知る	
		3	世界のさまざまな発声に親しむ	
		4	各パートのメロディーを歌う	
	3	1	ハーモニーを作る	
		2	ハーモニーを作る	
		3	ハーモニーを作る	

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【美術】

中学【２】年 【美術】科

1. 授業担当者名【 篠原 】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

まずは授業に出席すること。週に１度の授業です。

皆さんは誰でも、素晴らしい作品をつくることができるはずです。素晴らしい美術の作品をつくることができるかどうかは、絵が得意かどうかではなく、人の話をきちんと聞き、作業に集中できるかどうかです。一度集中して作品をつくることができれば、自分自身の中やクラスのほかの人の作品を見たときに、新しい発見がたくさんあるでしょう。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	美術への関心・意欲・態度	積極的に表現や鑑賞の授業に取り組もうとしている。	授業における観察 宿題や作品の提出
②	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて発想している。表現の構想を練っている。	授業における観察 アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品や完成品 ペーパーテスト
③	創造的な技能	表現の技能を身につけている。意図に応じて、表現方法を工夫しようとしている。	授業における観察 制作途中の作品や完成品 ペーパーテスト
④	鑑賞の能力	美術作品をみて、感性や想像力を働かせている。美術文化を理解している。	授業における観察 話し合いの様子や発言内容 ワークシート ペーパーテスト

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書（上・下）　○資料集　○スケッチブック　○絵の具セット　○色鉛筆　○雑巾
○鉛筆（ＨＢ・２Ｂ各一本ずつ）

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【美術】

中学【２】年 【美術】科

1. 授業担当者名【 篠原 】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	レタリングの基礎 「永」と自分の名前	
		3		
		4		
	5	1		
		2		
		3	絵文字	
		4		
	6	1		
		2		
		3		
		4		
	7	1		
		2		
		3		
2	8	4		
	9	1		
		2		
		3		
		4		
	10	1	木彫 ハンガー	
		2		
		3		
		4		
	11	1		
		2		
		3		
		4		
	12	1		
		2		
		3		
3	1	2		
		3		
		4		
	2	1		
		2		
		3	遠近法の基礎①	
		4		
	3	1	「ゴッホの椅子」に座る人	
		2		
		3		

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【保健体育】

中学【２】年 【保健体育】科

1. 授業担当者名【石躍・横江】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

まずは、授業に参加しましょう。そのためには、日々の体調管理をしっかりすること、体操服などの準備物を忘れないことです。体操服忘れは、「見学」となり、忘れ物の減点と二重の減点になります。注意しましょう。

また、運動神経の良し悪しではなく、取り組みの姿勢や様子に重点を置いて評価します。特に、体育授業や学校生活の基礎となる「集団行動」や、「ラジオ体操」などは手を抜かず真面目に頑張りましょう。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	○運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 ○互いに協力し、励ましあいながら学習ができる。 ○自らの課題に気づき、課題解決に積極的に取り組むことができる。	○実技授業の出欠 ○実技授業の見学 ○取り組みの姿勢（積極性） ○学習カード・ノート等の提出状況
②	運動や健康・安全についての思考・判断	○学習した知識を、学習場面や学校生活で活用することが出来る。 ○自己の課題に応じた適切な取り組みができる。 ○用具や活動場所の安全に留意して活動し、協力して準備や片付けができる。	○取り組みや活動の様子 ○実技授業の忘れ物の数 ○学習カードやノートの記入内容
③	運動の技能	○集団行動の約束事を守り、協力して行動できる。○ラジオ体操第二を正しく行える。○各種目の基本技能習得に前向きに取り組み、実技テスト課題項目をクリアできる。	○集団行動 ○ラジオ体操 ○各種目の記録や実技テストの結果
④	運動や健康・安全についての知識・理解	○各種目の特性について理解している。 ○各種目のルールや技の名称などを理解している。 ○保健分野において、単元の内容の基礎的な事項について理解している。	○保健授業の出欠 ○定期テストの結果 ○保健授業に関する忘れ物

4. 準備物・持ち物・教材など

○体操服　○体育館シューズ　○保健の教科書・ノート　○実技の教科書

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【保健体育】

中学【２】年 【保健体育】科

1. 授業担当者名【 石躍・横江 】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	オリエンテーション	
		3	集団行動	
		4		
	5	1	ラジオ体操	
		2		
		3		
		4	スポーツテスト	
	6	1		
		2		
		3	水　泳	
		4		
	7	1		
		2		
		3		
2	8	4		
	9	1	体育大会	
		2		
		3		
		4		
	10	1		
		2	器械運動	
		3		
		4		
	11	1		
		2		
		3	陸　上	
		4		
	12	1		
		2		
		3		
3	1	2	長距離走	
		3		
		4		
	2	1		
		2		
		3	球　技	
		4		
	3	1		
		2		
		3		

保健の授業は、年間を通して行っていきます。

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【技術・家庭】

中学【２】年 【技術・家庭】科

1. 授業担当者名【技術：西本　家庭：福井】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

技術家庭の時間はそれぞれ週1回です。
クラスを半分に分け、少人数制での授業に取り組んでます。

技術：一回の授業を大切にしてください。主にパソコンを使った授業展開になります。中には複雑な作業も含まれます。指示をしっかりと聞き、正しい手順で作業等ができるようになりましょう。
家庭：調理実習・ミシンを使った制作と実習時間が増えます。作業が遅れないように、一回ずつの授業を大切にしてください。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	生活や技術への関心・意欲・態度	・ノートやプリント類の記入をきちんとする。 ・作業、実習を意欲的に取り組む。	・授業における行動観察 ・発表や発言の様子 ・ノートやワークシートの記述 ・作品やノートなどの提出状況
②	生活を工夫し創造する能力	・作業前の準備や後片付けが手際よくできる。 ・作品のデザイン、計画や作業手順の工夫ができる。	・授業における行動観察
③	生活の技能	・実習道具を正しく使い、安全に注意して作業ができる。 ・作業手順、作業方法を理解し、正しく丁寧に作業ができる。 ・時間配分を考え、作品を完成させる。	・授業における行動観察 ・ノートやワークシートなどの記述 ・作品の完成度
④	生活や技術についての知識・理解	・プリント等の提出物を考慮する。 ・定期テストの結果を考慮する。	・授業における行動観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期テストの結果

4. 準備物・持ち物・教材など

技術：・教科書　・ファイル
家庭：・教科書・ノート・裁縫道具・エプロン

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【技術・家庭】

中学【２】年 【技術・家庭】科

1. 授業担当者名【福井・西本】

2. 年間指導計画

学期	月	週	家　庭	技　術
1	4	2	・米の栄養	「生物の育成」 作物の栽培
		3	肉について	
		4		「コンピュータのしくみと基本操作」 ・タイピング ・WORD
	5	1	魚について	
		2		
		3	卵について	
		4		
	6	1	野菜について	
		2		
		3	調理をしよう	
		4	・調理実習６～９月にかけて４回程度	
	7	1		
		2		
		3		
2	8	4		
	9	1		・EXCEL
		2		
		3		
		4		
	10	1	生活を豊かにする物をつくる	
		2	ペンケースの制作	
		3	・しるしつけ	
		4	・縫製　ミシン縫い	
	11	1		・POWER　POINT
		2		
		3		
		4		
	12	1		
		2	・仕上げ　自己評価記入	
		3		
3	1	2	住まいのはたらき	「情報モラルについて」
		3	住まいのさまざまな役割	
		4	住まいの安全対策、災害への備え	
	2	1	快適な住まい	
		2	インテリアコーディネイトにチャレンジ（実習）	
		3		
		4	食品の選択と保存	
	3	1	生鮮食品と加工食品	
		2	食品添加物について	
		3	食物アレルギーについて	

3. 備考　技術：生物育成に関する分野は時期を調整中。

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【英語】

中学【２】年 【英語】科

1. 授業担当者名【瀬川・森川】

2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)

・教科書、ノートを忘れないようにしよう。
・授業中は集中して一生懸命取り組もう。
・日々の宿題や小テストを大切にし、提出物を必ず出そう。
・ノートを「板書を書き写すだけのもの」にせず、授業中にメモを取ったり、自主的な家庭学習、すきま時間の自習、小テストや定期テストの勉強を行ったりなど、どんどん活用し、世界に一冊のオリジナルノートを作ろう。

3. 評価基準

	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	「聞く」「話す」「読む」「書く」の言語活動に積極的・意欲的に取り組み、コミュニケーションを続けようとすることができる。	・授業態度 ・宿題・ノート・ワークの提出状況と達成度
②	外国語表現の能力	初歩的な英語の情報を読み取ったり、適切な音読をしたり、場面や相手に応じて自分の考えや気持ちなどを正しく話したり書いたりできる。	・定期テスト・課題テスト・小テストの対応する問題
③	外国語理解の能力	初歩的な英語の情報を、場面や相手に応じて、正しく聞いたり、読むことができる。	・定期テスト・課題テスト・小テストの対応する問題
④	言語や文化についての知識・理解	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に着けている。初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。	・授業中の英語での・授業中の英語でのコミュニケーション ・定期テスト・課題テスト・小テストの対応する問題

4. 準備物・持ち物・教材など

○教科書(New Crown2)　○ノート　○ワーク（必要な場合のみ）

5. 備考

○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。

○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。

○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。

○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。

○ 年間計画【英語】

中学【２】年 【英語】科

1. 授業担当者名【瀬川・森川】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	Lesson1 Aloha!	
		3		
		4	We're talking1	
	5	1	Lesson2 A Calendar of the Earth	
		2		
		3		
		4	We're talking2	
	6	1	Lesson3 For Our Future	
		2		
		3		
		4	We're talking3	
	7	1	Lesson4 Enjoy Sushi	
		2		
		3		
2	8	4	1学期の総復習	
	9	1	We're talking4	
		2	Let's read1	
		3		
		4	Lesson5 My Dream	
	10	1		
		2		
		3	We're talking5	
		4	Lesson6 Uluru	
	11	1		
		2		
		3	We're talking6	
		4	Lesson7 Good Presentations	
	12	1		
		2		
		3	2学期の総復習	
3	1	2	We're talking7	
		3	Lesson8 India, My Country	
		4		
	2	1		
		2		
		3		
		4	We're talking8	
	3	1	Let's read2	
		2		
		3	3学期の総復習	

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

４．参考資料：「ひとり学び」のポイント（大阪市 教育センターより）

中学校１・２・３年生の皆さんへ

「ひとり学び」にトライしよう！

学ぶことは、自分自身の可能性を高め、自分の夢の実現や、
豊かに生きることにつながります。やれば必ず成果が出ます。
「ひとり学び」で学ぶ力を高めよう！

中学校１・２年生

□ 自分の生活リズムの中に、自主学習を入れよう

・中学校では、教科ごとに先生がかわる、いわゆる教科担任制になります。また、部活動なども始まります。まず、中学校の生活リズムに慣れることが大切です。学習と部活動などとの両立は慣れるまで大変ですが、時間を有効に使うことを心がけましょう。

・学習内容が小学校に比べて広がるとともに詳しくなり、学習量も多くなります。定期テストもあります。宿題のあるなしにかかわらず、自分で計画的に学習を進める必要があります。

□ 自分にあった、自分流の家庭学習の方法を

・家庭学習の内容は、宿題はもちろんのこと、学校の授業にあわせて、予習や復習を中心に行うことが大切です。学習時間を、「宿題以外に、『20分×４教科の学習』で1日80分しよう」などと自分で決めて、学習を続けましょう。

・その日の授業の内容を、その日のうちに教科書、ノート、プリントなどでふりかえり、ポイントを整理するなど、復習に重点を置いて取り組むとともに、予習もできるように心がけましょう。

・学習方法については、先生とよく相談をして、自分にあった効果的な仕方で進めましょう。

□ 分からないことをそのままにしない

・分からないことが出てきたらできるだけ早く解決することです。自分で、教科書を見直したり、例題で考え方を確かめたり、友達や先生に相談したりするとよいでしょう。分からないことをそのままにせず、解決していくことが、学習への自信につながっていきます。

中学校３年生

□ 自分の将来を見すえた目標をはっきりと持とう

・自分の進路を選択する、人生の節目の時期です。「やらなくては」と思いながら、そのとおりできない自分にあせったり、いらだったりしがちです。先生やお家の方とよく話し合って、将来を見すえた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながります。ぜひ、話し合いの時間を持ちましょう。

□ 年間スケジュールを考えよう

・３年生は、中学校３年間のまとめの時機です。１・２年生の学習も含めて、総復習をするための時間が必要になります。このことも学習計画に入れましょう。

・１年間の、学習のスケジュールを考えることで、どの時期に自分が何をすべきかがはっきりします。特に、夏休みや冬休みは、継続的に学習できる絶好の機会です。夏休みは１・２年生の時の復習、冬休みはラストスパートなど自分の計画を立てましょう。

□ 時間を有効に使おう

・３年生は、行事や部活動で、中心になって活動することになります。起床から就寝までの生活の見直しを行い、時間の使い方を工夫し、学習との両立を図るのも大切なことです。

・日頃の授業を大切にすることや、計画的な家庭学習を継続することで、基礎・基本を確実に身につけることも、時間を有効に使うことです。

「ひとり学び」のポイント！

「もっとできるようになれば…」「学習をしたいけど、方法が分からない」
といった生徒の皆さんの声を聞くことがよくあります。
そこで、皆さんに「ひとり学び」のポイントを紹介します。

国　語

★ 日常生活、コミュニケーション、学習、考えることなど・・・言葉が必要です。
国語の学習が大切なことは誰もが認めることでしょう。

□ 声に出して読む

「声に出して読む」ことは、文章を理解するための第一歩です。教科書の文章を、声に出して読むことで、読めない漢字に気がついたり、内容も頭に浮かぶようになったりします。毎日1度は声に出して読むことで自然と読解力がついてきます。好きな詩や俳句などを暗唱するのもいいですね。

□ 漢字を書いて覚える

漢字は、機械的に書くより、へんやつくり、字形を意識して書くと頭に入りやすく、忘れにくくなります。何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。

□ 意味の分からない語句は辞書で調べる

分からない漢字や語句が出てきたらすぐに辞書で意味を調べましょう。漢字の由来が分かるとおもしろいものです。また、言葉の意味が分かれば文章の内容は理解しやすくなります。「辞書をひいて分かる言葉を増やす」ことはとても大切です。小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみたり、気に入ったジャンルの本を読み比べたりしてみましょう。

学習方法のアドバイス！

○音読の回数は？

毎日続けるなら、一日一回でもいいです。

○漢字の練習は？

別に漢字ノートを用意するといいですね。 毎日、5～10くらいの漢字をそれぞれ1行程度書いてみましょう。

○分からない言葉が多いときは？

何日間で調べるか決めましょう。気になる言葉から順に調べるなどして、最後には、分からない言葉をなくすようにしましょう。

○読書はどんな本でもいいの？

まずは、いろいろな本に挑戦してみましょう。例えば、優れた絵本は、大人でも読んで楽しいものです。その中で、気に入った物語や小説が見つかれば、同じ作者の本、同じテーマの本などを読むのもいいですね。

社　会

★世界は、いろいろなことでつながっていて私たちの生活と密接に関連しています。歴史も現在につながっています。社会科で学習することは、今とこれからの社会の発展を考える上で必要です。

□　**学習したことをまとめる**

復習に重点を置いて、「教科書から、重要語句や人物などをチェックして、ノートに書く⇒資料・地図などで重要語句や人物を確かめてメモする」など、授業中に学習したことを、分かりやすくまとめましょう。関係する事柄を図に表すのもいいですね。

□　**学習した内容を詳しく調べる**

教科書に出てきた国や地域、歴史上の人物や出来事などを、図書館の本やインターネット等を活用して、より詳しく調べてみましょう。また、例えば、食品の表示されている原産国を調べるなど、身の回りにある食品や工業製品がどこでできているかなどを調べてみるのもいいでしょう。

□　**新聞やテレビのニュース・話題について考える**

学習したことを、社会の動きと関連させて考えたり、生活の中で見つけたりすることも大切な学習といえます。また、地域や社会のできごとにも関心を持ち、新聞やテレビなどで話題になっていることを自分でも考えてみる習慣をつけましょう。

学習方法のアドバイス!

○地理的分野は？

地名は、地図帳で必ず確認するようにしましょう。グラフや資料から、おおまかな傾向をつかんだり、正確に読み取ったりできるようになりましょう。旅行のパンフレットを手がかりに、地図上で旅行するのもいいですね。

○歴史的分野は？

時代の流れや特徴をつかむことが大切です。日本と世界の出来事を並べた年表を作ってみるのもいいでしょう。

○公民的分野は？

分からない公民の用語は、必ず調べましょう。また、ニュースや新聞記事の内容が、教科書のどのページと関係があるのか探すと、理解が深まります。

数　学

★生活していく上で、ものごとを論理的に考え表現する力などがとても大切になってきます。数学で文章題や図形の証明問題など、様々なことを学習することで、そのような力が身に付きます。

□　**授業で学習した内容を、その日のうちにやり直す**

授業で学習した内容を自分のものにするには、繰り返し復習することが大切です。よく間違える計算などは、教科書の例題をもとに、手順や仕組みを確かめて、間違えた原因を確認する習慣をつけます。

□　**教科書の例題を理解する**

教科書の例題には、基本となる解き方や考え方が示されています。まず、例題に示されている解き方、式の意味や計算の仕方などを手がかりに、「自分で分かったと納得するまで」取り組むことが大切です。次に、もう一度、例題を、解き方を見ずに自分の力で解いて、自分が理解できているかチェックしましょう。練習問題にも挑戦しましょう。

□　**いろいろな問題を解く**

基本的な解き方が分かっていても、文章題の表現が違ったり、問題の出され方が違ったりすると、なかなか解けないことがあります。教科書の例題をもう一度やり直す、授業中に学習した文章題と同じ種類の問題をする、いろいろな問題を解いて慣れるなどが大切です。

学習方法のアドバイス!

○式の計算・方程式は？

力をつけるには練習が第一です。まず、正しく解くこと、次に、スピードをあげることを目標に、こつこつ練習しましょう。

○図形は？

証明問題は、例題や解説を見て、条件や考え方、証明のための書き方などを理解しましょう。また、問題を読んで自分で図を書く練習も大切です。面積、体積、角度を求める問題は、図形の性質や定理を確認して、使えるようにしましょう。

○関数や確率は？

関数の問題は、グラフや表と、式の関係を理解することが大切です。確率は、図や表を書くと分かりやすくなります。

理　科

★身の回りの工業製品も科学技術の結集したものです。自然の現象も、私たちの生活と密接な関わりをもっています。理科を学ぶことで、自然の事物・現象についての理解、科学的な見方や考え方を身に付けることができます。

□　**教科書・ノートの見直しをする**

教科書やノート、プリントには、学習のポイントが詰まっています。授業があった日に、それらを見て授業で学習したことをまとめることで、理解が進みます。図に書くのもいいですね。

□　**実験・観察は「目的・方法・結果・考察」をまとめる**

授業でした実験について、「方法・手順」「結果から何がいえるのか」を、一つのまとまりとして、図やグラフも利用して自分なりに整理すると、学習内容を理解できます。

□　**学習内容と関係することを身の回りで見つける**

学習内容と日常生活や社会との関連を考えたり、学習内容をもとにしてものづくりをしたり、観察や観測をしたりすると、原理や法則の理解が深まります。自由研究（論文）にも挑戦しましょう。

学習方法のアドバイス!

○ノートの整理は？

教科書を自分なりに整理して、図や色等を工夫して、ポイントをまとめると分かりやすくなります。

○実験のまとめは？

「～だから、これがいえる」という結論とその根拠をはっきり書くこと、器具の操作方法、試薬の性質、実験上の注意点なども大切なポイントです。

○教科書を分かるまで読む

１分野の問題など、教科書には考え方・解き方が示されています。「自分で分かったと納得するまで」取り組むことが大切です。練習問題にも挑戦しましょう。

英　語

★国際化が進展しています。英語は、皆さんが世界と出会うための一つの「道具」のようなものです。英語を学ぶことで、他の言語や文化への理解が深まったり、自分の可能性を伸ばしたりできるはずです。

□　**声に出して読む**

授業の中で先生の発音をしっかり聞き取り、正確に発音するように心掛けます。「習った日に自分で音読」することが大切です。

□　**書いて覚える**

教科書を見て、単語や英文を、ゆっくりと発音しながら正しく書き写します。「覚えるまで繰り返し書く」ことが大切です。単語も、文の中で覚えること、他の語と組み合わせることで、その語の意味やイメージが定着しやすくなります。

□　**基本文をマスターする**

教科書の各ページに載っている「基本文」は、「意味が分かる、読める、書ける」を目標に、声に出して繰り返し書く練習をして、マスターしましょう。基本文の意味を日本語で書いて、今度はその日本文を見ながら英文で言ったり書いたりできるようにしましょう。

学習方法のアドバイス!

○英語の上達は？

とにかく毎日、英語に触れることです。例えば、音読なら、習った教科書の文を最低3回、できれば5回以上するとよいでしょう。また、習った表現を積極的に使って英語日記などにもチャレンジしましょう。

○単語の覚え方は？

単語ならノート1行分、英文なら1文につき5回くらい書くとよいでしょう。時間をおいて復習し、書けなかったものを中心に繰り返し練習しましょう。

○リスニング力をつけるには？

英語の音に慣れることです。しっかりとした音読ができると、リスニング力もアップします。ラジオやテレビの語学番組を活用するのもよいでしょう。

その他

□　手伝いなど、家族の一員としての役割を持ち、それをしっかり果たしましょう。

□　スポーツなどで体を動かしましょう。

□　読書をしたり、展覧会に行ったりするなど、素晴らしい文学や芸術にふれる機会をたくさんつくりましょう。

「ひとり学び」チェック表

○「ひとり学び」の習慣が、どれくらい身に付いたか、自分でふりかえってみましょう。

☆ 自分の「ひとり学び」のメニュー
- 何を（教科や学習内容）
- いつ（学習時刻）
- どのくらい（学習時間や量）
- その他

〈 はい○ もうすこし△ いいえ× 〉

チェックすること	チェックらん（月/日 ）		
	/	/	/
① 机の上やそのまわりなど、自分が学習する場所をきちんと片づけている。			
② 学習を始める前に、テレビや音楽を消している。			
③ 宿題をすませてから、自分の学習に取り組んでいる。			
④ 自分が決めた時刻になったら、すすんで学習している。			
⑤ 宿題がなくても、毎日、学習している。			
⑥ 遊ぶ時間帯と学習する時間帯とをはっきりと分けて学習している。			
⑦ 見直しや答え合わせ、まちがい直しなど、学習の振り返りをしている。			
⑧ 分からないことをそのままにせず、聞いたり調べたりしている。			
⑨ 自分が決めた学習時間を守っている。			
⑩ 自分に必要な学習内容を考え、計画的に取り組んでいる。			
⑪ 睡眠を十分にとっている。			
⑫ 毎朝、朝食をしっかり食べている。			

☆ ふりかえってみて、次にがんばること

5. 西中学校ホームページについて

♪学校のホームページにお越しください♪

ホームページへのアクセス方法は…

スマホでQRコード撮影・検索ができます！

<その1>インターネット検索エンジンから

Google YAHOO! JAPAN など から

大阪市立 西 中学校 検索

<その2>大阪市教育委員会・にぎわいねっと(大阪市教育センター)のホームページから

ホームページが表示されたら、ぜひ「お気に入り」に登録してくださいネ！

西中のホームページは平成 26 年度の大阪市の中学校のホームページの中でアクセス数が上位でした。

授業用物品の案内や進路の最新情報など、役立つ情報満載です。

ぜひご覧ください！！

（　　）年　（　　）組　（　　）番　　名 前（　　）